

やまなしの福祉

11 No.338
2017
月号



特集

働く・学ぶ

表紙写真: THE Six SENSE 関連記事p2をご覧ください。

- P2 THE Six SENSE
- P4 職場体験をきっかけに福祉の仕事に
- P5 福祉人材確保定着支援の貸付事業
- P6 福祉の仕事サイトがリニューアル
- P7 ヴァンフォーレ甲府ボランティア体験
- P8 社協ボランティアセンター情報コーナー
- P10 福祉用具紹介
- P11 赤い羽根街頭募金報告

Six SENSE

ゲームで“未来体験” 介護・福祉の仕事を学ぶ

「THE Six SENSE～医療福祉系シミュレーションゲーム～」

介護・福祉の仕事についてゲームを通じて知ってもらおうイベント「THE Six SENSE～医療福祉系シミュレーションゲーム～」(山梨県社会福祉協議会主催)が7月30日、甲府市の県立図書館で開かれました。昨年のイベントをさらにパワーアップ、タブレット端末を駆使し、バーチャルリアリティー(VR=仮想現実)を取り入れたゲームなどを楽しみながら、若者や家族連れなどが高齢者や障害者の擬似体験や福祉の仕事について学びました。

次代を担う若い世代の関心を

福祉の仕事や障害への理解を音楽やアートを通じて深めてもらおうと活動しているNPO法人「Ubdobe(ウブドベ)」(東京)が企画し、県社協の主催で開催しました。昨年好評だった「THE Six SENSE～医療福祉系シミュレーションゲーム～」に続く第2弾です。介護職の人材が不足する中、ゲームを通じて“未来体験”をすることで若い世代に関心を持ってもらうのが狙いです。

運営には、県社協職員やウブドベのスタッフに加えて、ボランティアスタッフとして福祉関係の学校の学生たちなど多くの方の協力がありました。

ゲームの設定

あなたが働くゲーム会社で、タイムトラベル式のシミュレーションゲームが開発されました。「君にはこのシミュレーションゲームの被験者になってもらい、五感を最大限活用して内容の吟味・安全性を確認してもらいたい」。そんな上司の言葉から始まった未来体験!想像もしなかった未来が広がっていた…?!

全体ルール

参加者は2人1組になり、1人は車いすに乗り、もう1人が介助者となって協力し、タブレット端末に入っているルーレットを回し、出た目の数マスを進みます。「体験マス」には必ず止まり、マスに書かれた文言に従って誘導係の案内で体験ブースに進みます。



床に投影されたマス目を進みます



タブレット端末を操作

体験ブース

移乗介助 ブース



「寝坊した!急いで会社に向かう途中で事故にあう」のマス目で指示されたブースでは、病院のベッドから自分では起き上がれない障害を負ったパートナーを相手に、スタッフに立ち上がりの三原則を教えもらいながら、移乗介助を体験しました。

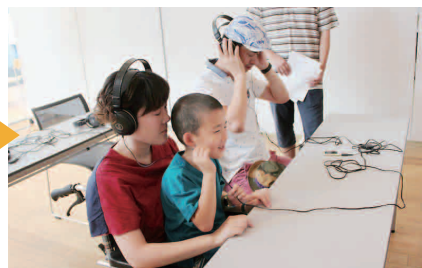
視覚障害者 体験ブース



アイマスクを着用して食事体験

「ある日突然パートナーが失明し視覚障害者になる」のマス目で指示されたブースでは、1人がアイマスクを着用して食事体験をしました。最初はサポートなし、続いてもう1人がサポートの仕方の説明を受けて食事を介助しました。

聴覚過敏 体験ブース



ヘッドホンをつけて聴覚障害を体験

「自分の子供が知的障害の子とクラスメイトになった」のマス目で指示されたブースでは、自閉症や発達障害のある方にみられることがある聴覚障害を体験しました。ヘッドホンをつけて流れる音楽の中から、キーワードの音を聞き取る体験をしました。

VR認知症 体験コーナー



認知症の方の不安をVR(仮想現実)で体験

「パートナーが軽度の認知症と診断される」のマス目で指示されたコーナーでは、ヘッドマウントディスプレイとヘッドホンを装着し、今いる場所が分からなくなる見当識障害という認知症の方が不安を感じている光景をVR(仮想現実)で体験しました。

ゴール OTまひ体験



手袋をして手指まひの状態をつくり
ナノブロックの作成

手袋をして手指まひの状態をつくり、ナノブロックの作成に取り組みました。作りづらさを体験した後、OT(作業療法士)からアドバイスを受けながら再度挑戦しました。「年をとった時や障害を負った時に、好きなことや、やり続けたいことを諦めなくてもいいような社会をつくること」も医療福祉従事者の仕事ということを学びました。

GOAL 社長室

すべてのミッションを終了して社長室でアンケート記入などを行い、ご褒美として音楽ライブ入場券を受け取りました。海外でも活躍するミュージシャンのオオヤコウスケのライブを聞きました。



ミッションを終了して社長室に

「ありがとう」の言葉と利用者さんの笑顔がうれしい

県福祉人材センターの職場体験をきっかけに医療法人恵信会 恵信りほくケアセンター(甲斐市)に勤務し、ショートステイ(短期入所生活介護)を担当している西川健二郎さん(46歳)。現在の仕事に就いて約1年となる西川さんに、福祉の仕事を選んだ理由、やりがい、これからの抱負などについて伺いました。

医療法人恵信会
恵信りほくケアセンター

西川健二郎(にしかわ・けんじろう)さん



Q. 福祉の仕事に就こうと思った理由は?

私自身、けがが多くて病院のお世話になることが何度もあり、お世話する側になりたいと思って医療、福祉関係の仕事をしたと考えました。

県福祉人材センターの紹介で、昨年、3カ所で職場体

験をさせていただき、現在の職場を選びました。病院に併設されていることで医療的な知識も身に付けることができるのではと考えたことに加え、自宅に近いことも理由でした。

Q. 現在の仕事内容は?

昨年9月に就職しました。最初は病院に勤務し、2カ月後に現在のケアセンターに異動しました。ショートステイ(短期入所生活介護)に配属されています。

人の命を預かる仕事ですので、気を遣いますが、仕事は楽しいです。いろんな方と触れ合うことができます。直

接、利用者さんと接する仕事ですので、良い対応をすれば良い反応が返ってきますし、逆に傷つけてしまうこともあります。「ありがとう」と言ってもらえることと利用者さんの笑顔がうれしいですね。これが介護の仕事の醍醐味だと実感しています。

Q. これからの抱負は?

先輩の助言で今年、介護職員初任者研修を受講しました。初任者研修修了後は、県福祉人材センターから受講費用の助成を受けることができました。私が研修で離れることで職場は大変でしたが、職場の方々の理解と協力

で受講することができました。

今後は実務者研修を受けて介護福祉士の資格をとりたい。福祉の仕事は、自分がしっかりした意識さえ持てば、仕事をしながらステップアップできます。

Q. 福祉の仕事を目指している方に助言を

まずは飛び込んで経験してみてください。関心がある方は、私もそうでしたが、職場体験をしたらいかがでしょうか。この仕事には排泄介助など抵抗がある部分もあるかもしれませんが、慣れます。

それ以上に必要とされ、やりがいがある仕事です。自分の家族をお世話する気持ちで取り組んでいただけたらいいかなと思います。自分はそうしています。

**熱心で
一生懸命な努力家**

当センターに西川さんが勤務して1年になりますが、熱心で一生懸命覚えようとしていて、よくやってくれています。やる気があります。今では夜勤も任せられるようになってきました。

医療法人恵信会 恵信りほくケアセンター 管理者代行 杉田隆信(すぎた・たかのぶ)さん

福祉人材確保・定着支援 貸付事業のご紹介



▽ 保育士就職準備金貸付事業

目的

保育士資格を有する方で、保育士として勤務していない方を対象に、山梨県内の保育所等において再就職をするための準備に必要な費用を貸し付けいたします。

対象

▼次のすべてを満たす方

- 1 保育士登録後1年以上経過した方又は、保育士登録から1年未満の方のうち、保育士養成施設を卒業された方、若しくは保育士試験合格後1年以上経過した方
- 2 次の施設又は事業に勤務経験のない方。又は、離職後1年以上経過した方。
①保育所、幼保連携型認定こども園 ②幼稚園
③家庭的保育事業 ④小規模保育事業 ⑤事業所内保育事業
- 3 県内の保育所等に新たに勤務する方
- 4 保育士として週20時間以上の勤務を要すること

貸付額

20万円以内
(1人あたり1回限り)
<使いみち(例)>
◎就職によって転居が伴う場合の転居費
◎保育所等で使用する被服費
◎勤務に要する移動用自転車等の購入費
など

▽ 未就学児を持つ保育士に対する保育料等の一部貸付事業

目的

未就学児を持つ保育士を対象に、保育士の子どもの保育料や預かり支援の利用に必要な費用の一部を貸し付けいたします。

対象

- 1 保育料の一部貸付(次のいずれかを満たす方)
※ただし保育士として週20時間以上の勤務を要する方が対象
①未就学児(小学校入学前)の子どもを持つ保育士であり、県内の保育所等に新たに勤務する方
②県内の保育所等に雇用されている未就学児を持つ保育士であり、産後休暇又は育児休業から復帰する方
- 2 子どもの預かり支援事業利用料金の一部貸付(次のすべてを満たす方)
①未就学児を持ち、県内の保育所等を利用している方
②保育所等の勤務の時間帯により、子ども預かり支援事業を利用する方

貸付額

- 1 保育料の一部貸付
【貸付額】
保育料の半額 ※ただし月額27,000円を上限
【貸付期間】
未就学児を持つ保育士が保育所等に勤務する期間であり、当該保育所等に勤務を開始した日から起算し1年間を限度とします
- 2 子どもの預かり支援事業利用料金の一部貸付
【貸付額】
子どもの預かり支援に関する事業を利用した料金の半額※ただし年額123,000円以内
【貸付期間】
未就学児を持つ保育士が保育所等に勤務する期間であり、2年間を限度とします

返還免除条件

県内の保育所等において児童の保護等の業務に従事し、2年間引き続きその業務に従事した場合は、返還が全額免除されます。ただし、未就労、他産業への転就職、自己都合等で退職した場合は、貸付金を返還していただくこととなりますのでご注意ください。

お問い合わせ先

山梨県福祉人材センター ☎055-254-8654
9:00~17:00(土日・祝日・年末年始を除く)

福祉分野の求人情報WEBサイトで日本最大クラス

福祉のお仕事 FUKUSHI-JOB SEARCH がリニューアルしました

福祉のお仕事サイトは、福祉分野の求人情報関連のWEBサイトの中でも日本最大クラスのWEBサイトです。

2017年4月より介護福祉士等の介護系資格保有者は資格情報の届出が努力義務となったことに伴い、福祉のお仕事サイトもリニューアルしました。今まで同様に求職者マイページの登録や求人情報の閲覧が行えることに加え、求職票の作成や求人票に対してWEB上で紹介状発行依頼や直接応募が可能となりました。

さらに、スカウト機能も向上し求人事業所から直接求職者のもとへスカウトが届くようになりました。

登録はとても簡単でインターネットが繋がるパソコンの他、スマートフォンやタブレットからの利用も可能となりました。これにより福祉人材センターへ来所する時間が無くても、ご自身のスマートフォン等での求職活動が可能です。福祉のお仕事をお探しの方、また興味のある方、福祉のお仕事サイトをご利用ください。

福祉のお仕事のURL:<https://www.fukushi-work.jp/>

リニュアル後の画面



登録方法

介護関係の資格を持っている場合

ライオンのマーク
「届出者(介護)の方」
から登録

届出者(介護)の方



介護関係の資格を持っていない場合

「求職者の方」から登録

求職者の方



リニュアル内容・特徴

- ★スマートフォン、タブレットに対応
- ★どこにいてもネット環境さえあればマイページ、求職票の作成が可能(求職票の有効期間は今までと同様の3か月)福祉人材センターへ来所しなくても登録可能
- ★マイページ、求職票の登録を行う事でネットから人材センターへの紹介状発行依頼、求人事業所への直接応募が可能
- ★スカウト機能の利用で求人事業所からマイページ上で個別にスカウトが受けられる

山梨県ボランティア・NPOセンター ボランティア体験事業

～高校生のヴァンフォーレ甲府ボランティア体験～

山梨県ボランティア・NPOセンターでは、ボランティアの裾野を広げるために、青少年や社会人の方々を対象にした各種ボランティア体験事業を実施しています。

今回は、8月5日(土)、8月9日(水)に実施したヴァンフォーレ甲府ボランティア体験事業の参加者から、ボランティア活動についての感想を伺いました。

思いやりと感謝の心を持ちたい

清水 一吹(しみず・いぶき)君
韭崎高校 3年



Q 参加した理由は?

小学生のころにサッカーをやっていてヴァンフォーレ甲府が好きでした。学校の掲示板でスポーツボランティアの募集を知って「やってみたい」と思い、応募しました。

Q 参加した感想は?

看板の設置、テント張りなどの準備から運営までいろんな作業を経験することができました。職員の皆さんをはじめ、大勢のボランティアの皆さんによって試合運営が支えられていること、その大変さや苦勞を知ることができました。一方、スタジアムに来るお客さんの喜ぶ顔を見たり、案内などをした際に「ありがとう」とお礼を言われたりすると本当にうれしいです。参加してよかったなと思います。

Q ボランティア活動について感じたことは?

ボランティアをしたことで、自分から仕事をみつけて率先してやろうという気持ちやリーダーシップを身につけることができました。また周囲の人や後輩に対して思いやりの心も持つことができるようになりました。ボランティアの経験を学校生活や今後の進路にも役立てていきたいと思っています。



控室の準備で
拭き掃除

会場で使う
テントを運ぶ

ボランティア経験を通じて 自分も成長したい

浅川 千聖(あさかわ・ちさと)さん
甲斐清和高校 2年



Q 参加した理由は?

高校で総合コース・福祉クラスということもあって、福祉の仕事やボランティアに関心があり、様々なボランティアを体験してきました。スポーツボランティアも一度は経験したいと思い参加しました。

Q 参加した感想は?

テーブルの拭き掃除、ボールの空気入れ、観客に配るポスターの準備などスポーツの試合を裏方で支える作業を体験しました。華やかに見えるスポーツイベントですが、外からは見えない部分で、様々な仕事に多くの人がボランティアとして関わり試合を支えていると感じました。



Q ボランティア活動について感じたことは?

ボランティア活動の体験を学校生活に生かし、また自分自身も成長していきたいと思っています。

山梨県ボランティア・NPOセンターの今後のボランティア体験事業のご案内

(平成29年11月以降)

No.	開催時期(予定)	事業名	内容	対象	定員	参加費
1	12月2日(土)	歳末たすけあい街頭募金活動	甲府市中心街での街頭募金活動	中学生以上	100名	
2	1月14日(日)	甲府市街ふれあいクリーン活動	甲府市街の清掃活動	どなたでも	50名	無料
3	3月 4日(日)	甲府市街ふれあいクリーン活動	甲府市街の清掃活動	どなたでも	50名	

【お問い合わせ・お申込先】 山梨県ボランティア・NPOセンター 電話 055-224-2941

甲斐市ボランティアセンターには、平成29年10月現在86の登録団体があり、個人を含め1,000名以上の方に関わっていただいています。ボランティアさんが気持ちよく活動できるように様々な業務に取り組んでいます。



甲斐市ボランティアセンター

<ボランティア活動室>

甲斐市社会福祉協議会の本所(敷島)と竜王支所にボランティア活動室があり、ボランティア団体の定例会や活動準備のために使われています。利用しているボランティアさんの声を聴きながら、活動しやすい環境づくりを目指しています。



ボランティア活動室

《ボランティア相談・斡旋》

どんなことでも気軽に相談できるよう、毎月第2水曜日に『ボランティア相談日』を設けています。ボランティア活動に興味のある方に対する情報提供や、現在ボランティア活動している方の新しい活動場所の提供、施設とのマッチングなど、様々な相談に対応しています。

《福祉教育の推進》

学生がボランティア活動を体験する『夏休みボランティア体験事業』を実施し、平成29年は全38メニューを約400名の学生が体験しました。施設だけでなくボランティア団体も学生の受け入れを行っており、「一生懸命取り組む様子が大変刺激になる」と学生との交流を楽しみにしています。



甲斐市ボランティア交流会

《交流の場づくり》

甲斐市内のボランティア活動の活性化のため、ボランティアさん同士の交流の場を設けています。特に毎年6月に行われる「ボランティア交流会」では、市内のボランティア関係者や地域住民を含め約100名が参加し、お互いの活動を発表し合い、親睦を深めています。



甲斐市ボランティア交流会

甲斐市ボランティアセンター

業務時間：月曜日～金曜日(祝日を除く) 8:30～17:15

<http://www.kaishakyo.com/>

住所：甲斐市島上条3163
(甲斐市社会福祉協議会 本所)

TEL：055-277-1122

FAX：055-277-1284

魅力あるホームページの作り方 について学びました。

平成29年7月20日(木)に、山梨県社会福祉協議会の自主研修として、福祉事業所従事者を対象に、「魅力あるホームページの作り方」研修会を開催いたしました。

ホームページ作成における基本的な考え方や、見やすいホームページの事例を紹介すると共に、ホームページを公開するに当たっての法令やセキュリティ対策、肖像権やプライバシー侵害について学びました。

またグループワークでは、実際にホームページの作成を行い、ホームページの基本設計や作成の流れについて理解を深めました。



○山梨県社会福祉協議会では、県委託事業のほかに、福祉事業所従事者を対象として業務に必要な知識・技術を学び業務に活かすことを目的に、自主研修を開催しています。詳細は、本会ホームページをご覧ください。

【お問い合わせ】福祉人材研修課 TEL055-254-8654

福祉の就職総合フェアinやまなし を開催しました。

県内で唯一の福祉・介護・保育専門の就職相談会である「福祉の就職総合フェアinやまなし」を8月9日(水)アピオ甲府にて開催しました。今年は、高齢者・障害者施設をはじめ、保育・児童関連施設など77法人が261件の求人を携えブースを設けました。専門学生・大学生を中心に、92名の参加があり、興味・関心のあるブースを訪問して、人事担当者から、仕事の内容や、求める人物像について詳しい説明を受けていました。

また当日は、一般社団法人 山梨県介護福祉士会副会長 原藤愛さんによる「私が福祉の仕事続ける理由」と題した講演も行われました。専門学校を卒業後介護福祉士を取得し、現在は介護支援専門員として11年目という原藤さん。



「介護支援専門員は、在宅生活が円滑に行われる為のコンダクターであり、国家資格である介護福祉士には専門職としてのプライドと責任を感じている。人のために勉強し、自分を磨く仕事が福祉の仕事の魅力である」と語り、参加者は第一線で活躍する先輩の話に熱心に耳を傾けていました。

Goods

福祉用具紹介
あると便利なグッズたち

電動アシストだから坂道でも安心・安全な歩行

ロボットアシスト ウォーカーRT.2

■ 価格 118,000円(税別)

①ハンドル部のセンサーで
人の動きをセンシング

②6軸モーションセンサーで
路面状況や人の動きをセンシング

③センシング情報をもとに
リアルタイムにアシストブレーキ



グリップに手を置き押すだけの簡単操作です。ロボット技術により、上り坂は自動的にパワーアシストが働き従来よりも楽に上ることができ、下り坂では自動的にブレーキが働き適度に減速します。また、傾いた道では片流れを防止しハンドルを取られることなく安定して進めます。さらに、速度検知機能により速度超過を検知すると自動的に減速ブレーキがかかり転倒を防止します。



Check Point

現在歩行器をご使用の方、ブレーキ操作などが出来ず、これまで歩行器の使用を諦めていた方、パーキンソン病など歩行障害のある方にお薦めです。

■ 優遇措置の内容

介護保険制度の福祉用具貸与対象品となります。「ロボットアシストウォーカーRT.2」は「要支援1・2」「要介護1～5」の認定を受けている方で、在宅サービスを利用する方は、レンタル料の1割でレンタルできます。

ヘッドホンタイプの集音器

Phontec (フォンテック)

■ 価格 64,800円(税込)

本体を着脱することで自動的に電源のオン・オフが切り替わります。ヘッドホンタイプのデザインなので、耳の形や耳穴の大きさに関係なく使えます。両耳で集音することができ、音の方向性を聴き分けることが可能となり、多方向からの呼びかけでも、誰が呼びかけてきたかがわかります。そのうえ、左右別々の音量調整ができるので、聴力のバランスも補正できます。また、突然の大きな音や食器の当たる金属音、新聞をめくる時の音を自動で減衰して聞こえを補助します。また、重さ120gの軽量設計なので、装着した際にも負担がありません。単4乾電池2本使用。

※本製品は、医療機器認定を取得した補聴器ではありません。



お洒落なヘッドホンタイプのデザイン



Phontec装着イメージ



Check Point

最近、人の声が聴きにくくなった。電子音がよく聞こえない。今までの集音器が耳に合わず使用を諦めていた方にお薦めです。

離れていてもスマホやタブレット、PCで生活状況を確認

センサーによる見守り支援システム 「いまイルモ」

■ 価格 19,600円(税別)～
※別途月額費用要

離れて暮らす方や介護の必要な方のお宅などに設置した各種センサーの情報を、ご家族などがスマートフォン、タブレット、パソコンから閲覧することで、生活状況の確認が可能になります。カメラを使わない事でプライバシーに配慮しながらも、複数のセンサーで生活状況の把握をサポートします。また、見守られる方には、徘徊予防などの機械を付けてもらうような煩わしさが無く、今まで通りに生活することが可能となっています。何かあった時に家族にメールで知らせてくれる「お知らせ機能」もあり、安心して離れて暮らす人を見守ることが出来ます。



離れていてもスマートフォン、タブレット、パソコンで生活状況の確認が可能に



スマホ画面の一例



Check Point

独り暮らしの高齢者をお抱えのご家族、自治体、集合住宅の安否確認、介護施設などにお薦めです。

■ 優遇措置の内容

介護保険制度の福祉用具貸与対象品となります。「要介護2～5」の認定を受けている方で、在宅サービスを利用する方は、レンタル料の1割でレンタルできます。(ただし、インターネット回線接続などの実費負担あり)

「赤い羽根共同募金街頭活動」へのお礼とご報告

山梨県社会福祉協議会は10月2日、3日、4日の3日間、甲府駅周辺で県内の福祉団体・施設とともに「赤い羽根共同募金街頭活動」を行い、延べ54団体、186名ものご参加をいただきました。

期間中に寄せられた募金226,880円は、活動に参加された団体名を添えて、山梨県共同募金会に届けました。募金は今後、地域福祉活動のために役立てられます。皆様のご協力、ありがとうございました。





善意をありがとう

タオル等をご寄付

一般社団法人山梨県法人会連合会様、公益社団法人甲府法人会様(いずれも芦澤敏久会長)より、会員の皆様からお寄せいただいたタオル、石けん、使用済み切手等の寄贈をいただきました。

お預かりした寄贈品は、福祉施設で活用いただきます。たくさんの善意をありがとうございました。



山梨県法人会連合会 高野孫左工門 副会長(右)

福祉車両の寄贈

中外製薬株式会社様より中央市社会福祉協議会へ在宅福祉助成事業・移送サービスカー寄贈事業として福祉車両1台(トヨタハイエース)を寄贈いただきました。

中外製薬株式会社では、1985年より在宅福祉サービスの推進に不可欠な福祉車両の寄贈事業を実施しており、今年度は中央市社会福祉協議会を含め全国で5台が寄贈されました。ありがとうございました。



貸し出し 図書紹介

できることを取り戻す 魔法の介護



著者 にやりほっと探検隊
 発行者 長谷川 均
 編集 浅井四葉
 発行所 株式会社ポプラ社

〒160-8565 東京都新宿区大京町22-1
 Tel(営業)03-3357-2212 (編集)03-3357-2305
 ホームページ www.poplar.co.jp

事故のないように、あるいは時間短縮のために、余裕がない介護の現場の反省から、視点を変えた高齢者との接し方、「にやりほっと」活動が始まっています。

「できないこと」や「気がかりな点」を見つけるだけでなく「できること」「好きなこと」などのプラス面に着目し、それを生かすことで、ポジティブな気持ちと健康的な生活を取り戻す取り組みを、家庭向けに紹介しています。

このほかにも介護・看護・福祉についての本(約300冊)やビデオ・DVD(約200本)を貸し出しております。詳しくは県立介護実習普及センターにお問い合わせください。
 <<☎055-254-8680>>

広報誌「やまなしの福祉」をパソコンやタブレットで閲覧

広報誌「やまなしの福祉」は、本会ホームページでPDF版の閲覧ができるほか、電子ブックでもご覧になれます。

タブレット・スマートフォンでの電子ブックのご利用の場合は、下記のQRコードでアクセスしてアプリ(ActiBook無料)をダウンロードしてください。指定のID(毎号変更)を入力すると閲覧できます。



ホームページ <http://www.y-fukushi.or.jp>

Android用

iOS用



11月号は以下の通りです。

11月号のID
yfukushi338

※パスワードは必要ありません

幼稚園 福祉施設等でも活躍!
 ウイルスによる食中毒の対策に!

2012.9 特許取得

アルタンノロエース

食品や調理器具をはじめ、施設内の人が手をふれる場所全ての衛生管理に

現場の声をカタチに...いつもアルタンから。
アルタン株式会社
 東京都大田区東船場 3-11-10 TEL 03-3743-5705

広島大学との共同研究で開発されたエタノール製剤・食品添加物です。